

# 建設経済部 目標

## 【概要】

建設経済部は、都市政策課・建設課・商工観光課・農林水産課・鳥獣対策室の4課1室で構成し、適正な土地利用の誘導、道路・橋梁及び水路の管理・補修及び整備、市営住宅、農林水産業、商工業、観光、労政及び有害鳥獣対策に関する施策に取り組んでいます。

建設経済部の目標（令和6年度）	建設経済部長
<b>【基本方向】</b> <p>市民生活や経済活動にとって重要な都市基盤の整備と維持管理を、効果的、効率的に行うことで、市民が今後も住み続けたいと感じられるような魅力あるまちづくりを推進します。</p> <p>自然環境を配慮した農林水産業と活気に満ちた商工業の発展を目指します。</p> <p>観光資源等を発掘し、市の魅力づくりに努めて参ります。</p>	
<b>【達成すべき目標】</b> <ol style="list-style-type: none"><li><b>1 国・県・関連市町村との連携</b><p>関係各機関への要望や調整会議等の開催、また各事業の課題に対する打ち合わせを密にし、各事業の着手予定が大幅に後退しないよう情報の共有を図ります。</p></li><li><b>2 部内、課内会議による情報の共有及び各課横断的な連携体制の確立</b><p>部内において、会議等を開催し情報共有を図ると共に、災害時やイベント時の部内応援体制など連携を図り取り組みます。</p></li><li><b>3 事業の計画的な実施</b><p>各事業の履行状況を定期的に確認し、計画的かつ効率的な事業の実施が図られるよう取り組みます。</p></li></ol>	<b>【目標の達成度】</b> <ol style="list-style-type: none"><li><b>1 国・県・関連市町村との連携</b><p>関係機関等との情報共有を密にし、要望活動や各種会議へ積極的に参加することで、各事業の着手予定や進捗等を管理することができました。</p></li><li><b>2 部内、課内会議による情報の共有及び各課横断的な連携体制の確立</b><p>3カ月に1度の部内会議や随時部課長会議を行い、部内の情報共有を図り、必要に応じて部内横断的に対応しました。</p></li><li><b>3 事業の計画的な実施</b><p>3カ月ごとの部内会議において、各事業の進捗状況を確認するとともに、主要な事業について適宜確認を行い、概ね計画どおり実施することができました。</p></li></ol>

# 都市政策課 目標

## 【概要】

都市政策課は、建設政策係・建設調査住宅係・建築係の3係13名で構成し、適正な土地利用の誘導、建築行政、市営住宅の管理等に取り組んでいます。

都市政策課の目標（令和6年度）	都市政策課長
<b>【基本方向】</b> 都市計画、開発行為、建築等に関する情報を的確に発信し、まちづくりを推進するとともに、都市公園、市営住宅等の適切な維持管理、公共建築物の営繕業務を実施します。	
<b>【達成すべき目標】</b> <b>1 東京湾口道路建設促進に係る期成同盟会の立ち上げ並びに要望活動の実施</b> 令和5年度、房総地域東京湾口道路建設促進協議会総会が開催され東京湾口道路の実現に向け気運が高まってきたことを受け、更なる気運の醸成に向けて期成同盟会を立ち上げ、要望活動を実施いたします。  <b>2 既存建築物等の総合的な安全対策</b> 地震に強いまちづくりに向けて、耐震相談会の開催や耐震診断、耐震改修の補助制度に加え令和6年度から制度化した危険ブロック塀等除却事業補助金制度等を積極的に情報発信し事業を推進します。  <b>3 市民ふれあい公園施設長寿命化</b> 老朽化が進む園内施設について「富津市公園施設長寿命化計画」に基づく計画	<b>【目標の達成度】</b> <b>1 東京湾口道路建設促進に係る期成同盟会の立ち上げ並びに要望活動の実施</b> 「房総地域東京湾口道路建設促進期成同盟会」の立ち上げにあたり、国会議員7名及び千葉県議会議員12名に顧問に就任いただくとともに、50におよぶ民間の経済団体等（令和6年度末時点）にも賛助会員として参画いただき、令和6年10月29日に設立総会を開催し立ち上げることができました。 また、令和7年1月16日には千葉県知事へ、2月17日には国土交通大臣へ会員市町とともに要望活動を実施することができました。  <b>2 既存建築物等の総合的な安全対策</b> 4月発行の納税通知書へ耐震改修制度パンフレットを同封し、市HP、広報ふつつへ情報を掲載するなど積極的な情報発信を行いました。耐震相談会を4回開催、耐震診断は7件実施と目標を上回りましたが、耐震改修の実施に至る案件はありませんでした。 また、令和6年度から制度化された危険ブロック塀等除却事業補助金は2件の利用がありました。  <b>3 市民ふれあい公園施設長寿命化</b> 「富津市公園施設長寿命化計画」に基づき、公園内のふれあいゾーンにある公衆ト

的な改修として、園内公衆トイレ1棟の改修を実施します。

#### 4 管理が不全な空き家等の調査・指導

空き家の現況調査を行い、管理が不全な空き家等、危険な物件の所有者に指導を行います。

イレ1棟について、男女共に洋式化や手洗い場の自動水洗化などの改修工事を実施しました。

#### 4 管理が不全な空き家等の調査・指導

通常の調査・指導に加え、著しく危険な空き家2件については、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「特定空家等」に認定し、指導しました。

「特定空家等」の状況については、令和4年度に1件、令和5年度に1件、令和6年度に2件認定し、合計4件となっています。

令和6年度末で、うち3件は、空家所有者等による対策が講じられています。

# 建設課 目標

## 【概要】

建設課は、管理補修係・用地係・建設係の3係16名で構成し、道路・河川・法定外の公共用財産・その他公共土木施設の整備・維持管理、市道の認定、廃止、変更事務、地籍調査の業務に取り組んでいます。

建設課の目標（令和6年度）	建設課長
<b>【基本方向】</b> <p>利用者が安全・安心で快適に利用できるよう、道路・橋梁等の適正な管理を行うと共に、より良い環境で利用できる道路・橋梁等の施設整備を効率的に行います。</p> <p>また、インフラ整備の効率化及び災害復旧の迅速化等を図るため、地籍調査を計画的に実施します。</p>	
<b>【達成すべき目標】</b> <p><b>1 道路整備事業の計画的な実施</b> （浅間山線・湊富士見台線） 工事については、円滑な実施ができるよう地元区及び関係機関との調整を図り進めます。 用地については、浅間山線及び湊富士見台線は残る地権者から用地を取得できるよう交渉を進めます。</p> <p><b>2 各区長からの要望書等への対応</b> 要望に対して、現地調査、関係部局との協議や打合せを実施し、早期に対応ができるよう連携を図ります。</p> <p><b>3 長寿命化修繕事業の実施</b> 橋梁（道滝橋） 法面（戸面原宇藤木線） 舗装（近藤越線） 長寿命化修繕計画に基づく計画的な維持修繕等の実施により、道路ストックの長寿命化を図ります。</p> <p><b>4 地籍調査事業</b> 地籍を明確にし、土地の有効利用を促進するため、適切な工程管理を行い、事業の進捗を図ります。</p>	<b>【目標の達成度】</b> <p><b>1 道路整備事業の計画的な実施</b> （浅間山線・湊富士見台線） 地元区及び関係機関との調整を図りながら施工可能箇所について早期の工事発注を行いました。 用地については、相続等の関係で難航している箇所もあるが適宜状況確認し、交渉を進めました。</p> <p><b>2 各区長からの要望書等への対応</b> 現地調査、関係部局等との連携を図り、早期に対応しました。</p> <p><b>3 長寿命化修繕事業の実施</b> 橋梁（道滝橋・東院橋） 法面（戸面原宇藤木線） 舗装（近藤越線） 地元区及び関係機関との調整を図りながら早期の工事発注を行いました。</p> <p><b>4 地籍調査事業</b> 西大和田地区及び千種新田地区の一部の区域（0.22 km<sup>2</sup>）において境界確認及び測量工程を実施するとともに、令和5年度の調査区域（0.41 km<sup>2</sup>）では、地籍測定、地籍簿作成、閲覧工程を実施し、事業の進捗を図りました。</p>

# 商工観光課 目標

## 【概要】

商工観光課は、商工係・観光係の2係8名で構成し、商工業の振興や観光振興に係る主要な施策に取り組んでいます。

商工観光課の目標（令和6年度）	商工観光課長
<b>【基本方向】</b> 商工及び観光に関する振興施策を検討し、市の経済振興及び活性化に必要な事業を推進します。	
<b>【達成すべき目標】</b> <b>1 指定管理施設の更新及び適正管理</b> 令和6年度末をもって指定管理期間満了となる「高宕山自然動物園」及び「金谷海浜公園」の次期指定管理契約の締結及び各施設について年間を通じた適切な管理を行います。 <b>2 第二海堡を始めとした富津岬周辺観光資源の活用推進</b> 第二海堡ツアー等既存の取組を着実に実施します。また、富津岬周辺の観光資源の新規活用に向けた調査研究を実施します。 <b>3 創業支援及び事業承継に係る事業者支援の推進</b> 創業支援は、富津市創業支援事業計画に基づく支援事業を関係機関等と連携して行い、事業承継は、経営者の抱える後継者問題や将来の事業継続の課題など必要な情報・状況を把握し、商工会やその他関係団体と連携して事業者をサポートします。 <b>4 市内への企業進出の協力</b> 企業立地に関する相談等には、市奨励金や各種補助金等の情報提供を行うなど事業者の新規事業支援を関係機関と連携して行います。	<b>【目標の達成度】</b> <b>1 指定管理施設の更新及び適正管理</b> 指定管理契約の更新手続きを着実に実施し、「高宕山自然動物園」は令和7年度の1年間、「金谷海浜公園」は3年間の次期指定管理契約を締結しました。 両施設とも、施設設備の点検を行い、年間を通じ適正な管理を行いました。 <b>2 第二海堡を始めとした富津岬周辺観光資源の活用推進</b> 第二海堡ツアーを2回実施し、計69名の誘客に繋げました。 千葉県が進めている富津公園再整備に向けて、千葉県を始め、各団体や地元の関係者等との情報共有や、観光宿泊業者との意見交換を行いました。 <b>3 創業支援及び事業承継に係る事業者支援の推進</b> 「ふつつ創業セミナー」を商工会等と開催し、参加者21名に経営・財務・人材育成・販路開拓の分野について支援を行いました。 包括連携協定を結ぶ三井住友海上火災保険(株)と「事業承継対策セミナー」を開催し、参加者18名に円滑な事業承継の進め方等について支援を行いました。 <b>4 市内への企業進出の協力</b> 市内に立地を考えている企業に対し、市奨励金や県で行っている補助金制度の情報提供を行うとともに、その他関係機関への案内を行いました。

# 農林水産課 目標

## 【概要】

農林水産課は、鳥獣対策室・農林係・水産係の1室2係16名で構成し、農林水産業の振興、農業経営、農業の産業化、林業の発展及び森林の計画的な整備、農山漁村の振興、農林水産業施設整備及び維持管理に取り組んでいます。

建設経済部の目標（令和6年度）	農林水産課長
<b>【基本方向】</b> 農林水産業の発展と農山漁村の振興及び農林水産業の有する多面的機能の維持・発揮を図るための事業を推進します。	
<b>【達成すべき目標】</b> <b>1 農林水産業者に対する物価高騰対策の実施</b> エネルギー等の物価高騰の影響を受けた市内農林水産業者を支援するため、市独自施策を構築するとともに、国及び県の施策を適切に周知、案内することにより市内農林水産業者のニーズに応じた情報提供等を行います。 <b>2 農林水産業の多様な担い手の育成・確保</b> 関係機関、団体と連携し、認定農業者等経営感覚に優れた農業の担い手の育成・確保、地域おこし協力隊の活用による、次世代漁業の担い手の育成・確保に努めます。 <b>3 漁港施設機能保全事業の実施</b> 国の水産物供給基盤機能保全事業を活用し、漁港施設の機能保全計画の見直しや、機能保全工事等を実施することで、更新コストの平準化・縮減、施設の長寿命化を図ります。	<b>【目標の達成度】</b> <b>1 農林水産業者に対する物価高騰対策の実施</b> 電気代の高騰等、物価高による影響を受けている事業者、団体等に対し、国や県の支援制度等の情報提供に努めました。 <b>2 農林水産業の多様な担い手の育成・確保</b> 担い手の育成として、関係機関と連携して農業施設導入の支援事業を実施しました。 担い手の確保については、農業では、新規の認定農業者が2経営体（3名）、認定新規就農者が1名増加し、水産業では、地域おこし協力隊2名の活用による多様な人材の確保が図られました。 <b>3 漁港施設機能保全事業の実施</b> 水産物供給基盤機能保全計画に基づき、大貫漁港北防波堤機能保全工事を実施する予定でしたが、想定よりも経年劣化による損傷が著しく補修が困難であったため、工事を中止し、次年度以降、機能保全工事の内容について再検討を行う予定です。

#### 4 森林環境整備事業の実施

令和4年度に実施した森林整備のための意向調査の結果を基に、森林環境譲与税を活用した森林整備を進めてまいります。

#### 4 森林環境整備事業の実施

志駒・梨沢地区の林道鹿原線沿線で、インフラ被害防止を目的とした間伐などの森林整備を実施しました。

# 鳥獣対策室 目標

## 【概要】

鳥獣対策室は、担務制3名で構成し、鳥獣による生活環境被害及び農作物被害防止に取り組んでいます。

鳥獣対策室の目標（令和6年度）	鳥獣対策室長
<b>【基本方向】</b> 鳥獣による生活環境及び農作物への被害防止を図るための事業を推進します。	
<b>【達成すべき目標】</b> <b>1 捕獲体制の推進</b> 富津市有害鳥獣対策協議会による有害鳥獣の捕獲・駆除に関する取組に対して支援を行います。 捕獲活動や捕獲機材の導入に係る経費の助成を行い、捕獲体制の推進を図ります。  <b>2 防除体制の推進</b> 富津市有害鳥獣対策協議会による有害鳥獣の防除に関する取組に対して支援を行います。 鳥獣被害防止施設の設置に係る経費の助成を行い、防除体制の推進を図ります。  <b>3 生活環境における被害防止対策の推進</b> 関係機関と連携し、緊急時の情報発信及びパトロールを実施することで市民の安全確保を図ります。 有害鳥獣被害対策に関する専門家のアドバイスを受けながら、モデル集落（有効な有害鳥獣被害対策を行う地区）となる地域づくりを推進します。	<b>【達成すべき目標】</b> <b>1 捕獲体制の推進</b> 捕獲頭数については、3月末時点で、イノシシ2,174頭（前年比約4割減）、サル208頭（前年比約2割減）、シカ2,228頭（前年比1割増）、キョン150頭（前年同）であり、イノシシ、サルについては目標を下回っているが、シカについては、捕獲計画目標を達成しました。 捕獲機材については、箱わな（大型獣用）43基、くくりわな24基の導入を行いました。  <b>2 防除体制の推進</b> サル追払い用花火を、天羽地区に加え、大佐和地区の一部にも配布しました。 侵入防護柵設置事業については、電気柵1,619m、物理柵16,889mを整備し、要望箇所すべてについて設置をすることができました。  <b>3 生活環境における被害防止対策の推進</b> 有害鳥獣被害対策に関する専門家に講師の依頼を行い、捕獲従事者の捕獲技術向上のための技術講習会や地域で対策を行う「地域ぐるみの対策」を進めるための市民向け被害対策講演や捕獲技術講習会を開催し、新たに児童向け講習会を開催しました。 また、獣害に対する対策や悩みを解決

<p><b>4 有害獣捕獲個体利活用の推進</b> 捕獲した個体を地域資源（ジビエ）として有効活用する取り組みを支援します。</p>	<p>するため、市内各地域に出向き獣害対策相談会を実施しました。</p> <p><b>4 有害獣捕獲個体利活用の推進</b> 捕獲した一部のイノシシ、シカ、キョンを、ALSOK千葉株式会社及び市内に開業したG. B. Aの協力により、ジビエ肉として活用し地域の有効資源とする取組への支援を行いました。</p>
--	--